

事業計画書

事業名	性的少数者への理解を深め、地域での居場所を作るための事業 (学術大会開催)
実施場所	サンウェル沼津(予定)
実施予定期間	平成30年4月2日～平成31年2月28日

◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。</p> <p>本事業は、平成29年度からの継続事業であり、これまでは市民意識の醸成を図る講演会・パネルディスカッション(平成29年2月11日開催予定)の開催と、平成30年度に性的少数者のイベント(学術大会)開催に向けた調査研究事業を行っているところです。</p> <p>平成30年度は、「セクシュアルマイノリティの医療・福祉・教育を考える全国大会」を地方である沼津市にて開催することで、地方では顕在化してこなかった性的少数者の問題を明らかにするとともに、更なる支援者・理解者の掘り起こしをしていくことを目的とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 開催日時：平成31年2月頃 ● 開催場所：サンウェル沼津 4F多目的ホールにて基調講演 2F大会議室、中会議室にて各学術講演 各会議室にてパネルディスカッション ※聴覚障害を持つ方に配慮し手話通訳、字幕を用意 車いすの方に配慮し専用のスペースを用意 <p>※準備期間として</p> <p>4月 キックオフミーティング(スタッフ選考)</p> <p>5月 東京レインボープライドにて告知</p> <p>5月～8月 分科会発表者選考</p> <p>10月 関西レインボーフェスタにて告知</p> <p>10月 webページ作成</p> <p>11月～1月 抄録集編集、印刷</p> <p>12月 情報保障のための手話通訳、PCライトの依頼</p> <p>1月 直前ミーティング開催</p> <p>2月 開催</p> <p>ミーティングは必要に応じて随時行う</p>

◎事業効果

※事業の効果を記載して下さい。

ソフト部門のステップアップ型事業・ハード部門4事業については、事業効果に対して、客観的な評価ができるよう、成果指標と数値目標を設定するなど、その検証方法を必ず明記して下さい。

セクシュアルマイノリティーが抱える生きづらさについては、大都市では社会的な問題として理解が深まりつつありますが、沼津市においては理解度が低い状況です。

「セクシュアルマイノリティーの医療・福祉・教育を考える全国大会」を沼津市で開催することにより、セクシュアルマイノリティーが抱える医療・福祉・教育の観点から見た課題を分析、提言することで生きづらさの軽減、解消を図るとともに、セクシュアルマイノリティーが地域社会に参画しやすい環境を整えることがこれからのまちづくりにとって重要だと考えられます。

また、当大会は大阪等の都市部で開催されることが多かったのですが、沼津市で開催することで沼津市が持つ様々な魅力に加えて、多様性のあるまちづくりに取り組む姿勢を情報発信できると考えられます。

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを確認して下さい。

<p>公益性</p>	<p>※不特定多数の住民の利益の増進、地域のまちづくりの推進に寄与する事項等を記載して下さい。</p> <p>国では、平成 16 年に「性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律」を施行し、性的少数者の社会的な不利益解消に取り組んでいます。沼津市では、「第4次男女共同参画基本計画」において、性的マイノリティについての理解・尊重のための学習機会の提供や啓発に努めるとしており、本事業の趣旨は、国・市の施策に沿った公益性があるものと考えます。</p> <p>また、電通ダイバーシティ・ラボの調査によりますと、LGBTは人口の7.6%を占めるとのことですが、沼津市の人口に当てはめると2万5千人以上のLGBTが在住している計算をなり、その数の方々の感じている生きづらさの軽減が望めると考えられます。</p>
<p>発展性</p>	<p>※活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>本事業を沼津市で開催することで性的少数者への理解の拡大が期待できると考えられます。また、継続して開催出来れば「性的少数者への理解のある街・沼津」を対外的にアピールでき、地域の発展に期待できると考えられます。</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域の実情・課題の解決に向け工夫した点、地域資源の活用などについて記載して下さい。</p> <p>地域住民をはじめ、市内の多様な団体と主体的に連携に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サンウェルぬまづ ボランティア ・清水町の当事者団体「レインボードア」 ・静岡市の当事者団体「GID しずおか研究会」 ・静岡市の当事者団体「BEBEC」 ・浜松市の当事者団体「NPO 法人にじいろ安場」 ・日本大学国際関係学部 サークル 「Your Self」 ・静岡県立大学 サークル「your color」 ・静岡大学 サークル「Grandiose」 他 市民ボランティア

<p>必要性</p>	<p>※事業を実施する意義や、補助金の交付が有益で質の高い事業展開につながる理由について記載して下さい。</p> <p>現在のところ、「性的少数者」の問題については、地方に行くほど取り組む者が少なく放置されています。</p> <p>同問題については行政等の支援制度も充実していないことから、民間が主導となって対応していくしかないのが現状です。</p> <p>今回は、同問題に対し医療、福祉、教育といった誰にでも関わる問題を学術的にアプローチすることで、公的、民間のサービスの質の向上につながると考えられます。</p>
<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、工夫した点について記載して下さい。</p> <p>これまでの大会は大阪で行われていたのですが、地方都市で開催することで地方では顕在化してこなかった性的少数者の問題が明らかになり、地方からの独自の視点での論議を発信できると考えられます。</p>
<p>継続性</p>	<p>※助成事業終了後も継続的・自立的な活動とするために、どのように取り組んでいくかについて記載して下さい。</p> <p>本事業を継続的に行うために様々な都市で行われているレインボーフェスタ等へブース出展し情報発信、情報収集、様々な団体とネットワークを構築していく取り組みを考えています。</p>

◎特に高い公益性を有することの説明

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。

当該学術大会は本邦でも唯一のものであり、国際的にも評価されている事業です。

性的マイノリティに関連するトピック、研究成果を、各専門分野の立場から論ずるというきわめてアカデミックかつ先進的な取り組みでもあります。この大会の発表をもとに政策、法制化などのいわゆる「ドミノ倒し効果」が見込まれ、今後のジェンダー平等、婚姻平等化への大きな一歩となることと考えます。

医療、福祉、教育の分野の第一人者が学術大会の趣旨のもと参集し、その専門分野での最新の研究成果を表し、闊達な意見を述べあうことで本市への注目度も上がることが期待されます。